

第 58 回原状回復対策協議会 (9 月 14 日開催) について

平成 25 年 9 月 14 日に開催された第 58 回原状回復対策協議会で、次のことが話し合われました。また、同日の午前中には、協議会の委員の方々による廃棄物の掘削が完了した現場の視察が行われました(写真 1)。

1 廃棄物保管量の増加について

掘削後、現場で保管している廃棄物については、今年度処分しているところですが、保管している廃棄物の再測量により、保管量が年度当初に比べて約 6,400 トン多いことが判明しました。これに伴い、岩手県側産業廃棄物推計量は約 351,000 トンから約 357,500 トンになりました。

なお、現場内からの廃棄物の搬出完了が当初の計画よりも遅れる見通しですが、本年度内で処分完了する予定です。

2 1,4-ジオキサン及びN地区汚染土壌の浄化対策の進捗状況について

(1) 1,4-ジオキサン浄化対策について

水処理施設の処理水を分析した結果、5～7月において、1,4-ジオキサンが環境基準値を最大 2 倍程度超過していたことが確認されました。なお、基準を超過した処理水については、水処理施設に返送して再処理し、基準値以下であることを確認した上で放流しました。

また、その後水処理施設を一部改良し、安定した処理がなされていることが確認されています。

(2) N地区汚染土壌浄化対策について (図 1)

汚染残留区画に対して対策を講じた結果、順調に土壌浄化が進んでおり、8 月末現在、浄化対象の 87 区画のうち、浄化が必要な区画はあと 2 区画となっています。



写真1: 掘削が完了した現場を視察し、
廃棄物がないことを確認する委員ら
(H25.9.14 撮影)

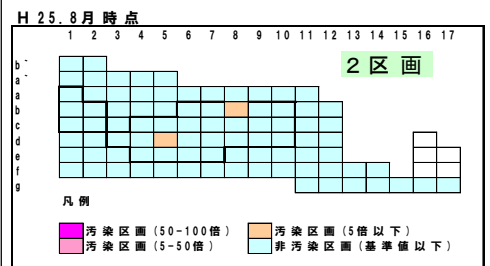


図 1: N地区の浄化進捗状況(H25.8 現在)

第 59 回原状回復対策協議会を次のとおり開催する予定です。

どなたでもご自由に傍聴できます。

日 時 平成 25 年 11 月 16 日 (土) 午後 2 時 10 分から

場 所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室 (二戸市石切所字荷渡 6-3)

第 11 回カシオペア環境講演会を次のとおり開催する予定です。

テーマ 「廃棄物とリサイクル(仮題)」

日 時 平成 25 年 12 月 7 日 (土) 午後 1 時から 4 時まで (12 時 30 分開場)

会 場 二戸市シビックセンター 1 階ホール (二戸市石切所字荷渡 6-2)

※ 入場料無料、申込み不要です。詳細は別途御案内します。

廃棄物の撤去状況について (平成 25 年 9 月末現在)

表: 平成 25 年度の月別撤去量

| | 撤去量(トン) |
|------------|---------|
| 25 年 5～8 月 | 8,521 |
| 9 月 | 123 |
| 計 | 8,644 |

平成 25 年度撤去目標 15,170 トン

※撤去量については、小数点以下の端数処理をしているため、割合の合計が 100% にならない場合があります。

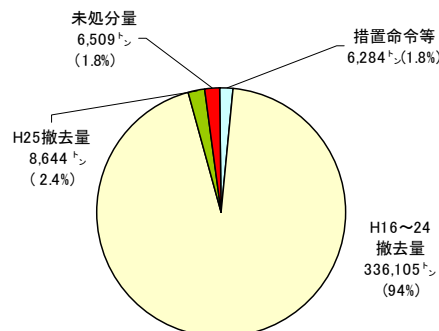


図 2: 岩手県側廃棄物の撤去状況

左図2に岩手県側廃棄物の撤去状況を示します。

9 月末までに、岩手県側廃棄物推計量約 357,500 トンのうち、351,033 トン(約 98.2%)を撤去しました。